

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第39号 令和4年10月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp

facebook

小長谷順二 検索

清秋の候、いまだコロナ禍ではありますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。令和4年9月定例会は、令和3年度伊豆市一般会計・特別会計の決算認定や、令和4年度伊豆市一般会計・特別会計補正予算、条例の制定など、多くの議案が上程され、本会議の質疑を経て、連合審査会、常任委員会の審議の結果、9月30日の最終日に原案の通り可決・認定されました。

令和3年度伊豆市一般会計の収支概要は、歳入総額241億2,258万3,000円に対して、歳出総額は224億738万2,000円で、差し引き17億1,520万1,000円になりますが、翌年の繰り越し財源を差し引くと実質収支額は14億6,922万6,000円となりました。

今後の政策課題はコロナ禍による財政支援も引き続き行わなければなりませんし、人口減少に伴い自主財源の減少も見込まれます。また、大型事業を控え、資源高騰などによりこれまで以上に財政需要の拡大が予測され、経常経費を含めた歳出の効果的な運営と新たな収入源が求められるので、より効率的な政策が実施される事を強く望みます。

令和4年9月定例会 一般会計補正予算(第3回)

.....(おもな事業).....

本庁舎へのデジタル戦略室の設置	407万円
だるま山レストハウスWi-Fi整備	3,000万円
自転車購入補助金の増	300万円
骨髄ドナー補助金	140万円
六仙の里管理道路整備工事	100万円
八木沢・小下田指定避難所改修整備	9,148万円
避難所用コロナ対策備品収容倉庫整備	1,261万円
天城給食センター給水ポンプ等改修工事	850万円
資料館トイレ改修工事	40万円
市内公的病院等補助金	2億5,658万円

条例の制定・条例の一部改正について

☆伊豆市水道事業及び簡易水道事業の統合に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

【制定理由】

・水道事業及び簡易水道を統合することに伴い、関係する6条例についての所要の改正をする。

☆伊豆市松原公園条例の一部改正

【制定理由】

・松原公園の一部に津波避難複合施設を設けることとなり、その管理に指定管理者制度を導入する予定であるため所要の改正を行う。

新ごみ処理施設の名称【クリーンセンターいず】に決定

来年1月に正式稼働を予定する新ごみ処理施設について、8月10日に開催された伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合議会定例会において施設の名称を『クリーンセンターいず』とする条例が制定されました。

8月21日には伊豆市・伊豆の国市の小学生を対象とした工事現場の親子見学会を行い19組55名が参加しました。

9月25日には施設の安全を祈願する火入れ式が行われ、10月10日からは、ごみ収集車による可燃ごみを全量受け入れた焼却試験を開始します。

新ごみ処理施設の建設工事もうよいよ最終段階となりました。「来年1月の正式稼働に向け、遺漏のないよう準備を進めてまいります。」と定例会初日に市長から行政報告がありました。



松原公園津波避難複合施設建設工事始まる

8月15日の臨時会において松原公園避難複合施設の工事請負契約の事業者は「土屋・青木特定建設工事共同体」に決定しました。また、9月1日の定例会初日に、観光地域づくり整備事業松原公園整備工事の請負契約の締結として「青木興業(株)」に決定しました。ウクライナ進攻等の影響で建設資材が高騰しており、一日も早く契約し材料を確保するために即日採択となりました。松の保全には最大限の注意を払い、市、検討委員会、設計管理者そして工事事業者と情報共有して工事を進めて行く予定です。

松原公園駐車場内に事務所が建設され、公衆トイレやプール等の解体が始まりました。

安全第一で予定どおりに工事が進む事を願っています。



伊豆市 CIO 補佐官 中村祥子氏就任

伊豆市の CIO（最高情報責任者）を務める佐藤副市長をサポートし、市役所のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する CIO 補佐官に、日本マイクロソフトで業務システムの導入コンサルタントなどに従事するカスタマーサクセスマネジャーの「中村祥子氏」が伊豆市非常勤特別職として就任しました。

中村さんはDXの目的について、情報システムを刷新することではなく、素早く変化し続ける能力を身に付けることだと指摘。時代の変化に合わせてビジネスモデルを変えてきたマイクロソフトの理念や取り組みなどを紹介し「仕事の生産性を高めて余力を作るのが大切」と8月4日の職員と市議を対象にしたセミナーで呼び掛けました。

伊豆市 DX 推進方針はデジタル技術を最大限活用し、市民サービスの利便性向上を図り、今後の社会変革への対応や人口減少対策、産業の活性化など、地域課題の解決を図る事を目的に、伊豆市 DX 推進本部を設置しました。



運転ボランティア養成講座(国交省認定カリキュラム)

「土肥の暮らしを支え合う会きずな」では令和5年より自家用車を使った運転ボランティア活動の創出を目指して下記のような有償ボランティア活動について検討しています。

1. 自家用車を使っての買い物支援や通院のお手伝い。
2. 社会福祉士法人が用意した車両での買い物ツアーの運転のお手伝い。
3. サロンや運動教室への送迎ボランティア など…。

8月6日・7日の2日間、土肥地区で養成講座を開催し、受講された方は修了証が発行されました。

1日目の午前中は移動サービスの運転に必要な知識と心構えの座学。午後からは運転・介護実習。2日目は関係法規に関する講義と地域で支えあう移動・外出支援、基本的な接遇技術講義、最後に全員で意見交換を行いました。

今後は実証実験などの検討を行い、方針について協議を行っていくとの事です。



しろばんばの里公園 園名石除幕式

伊豆市湯ヶ島地区の旧営林署跡地に整備された地域交流拠点となる『しろばんばの里公園』が完成し、8月11日に除幕式が行われました。

この公園整備は、湯ヶ島地区住民の皆様が、地域で一番欲しい物は子供と遊べる公園と言う母親世代の要望を受け、地域と市の担当者と『夢ある公園』にすべく、連日連夜の会議行い、協議を重ね、また、本年5月には100名近くの住民が公園の芝はりを行い芝生の成長を見守り、除幕式に至りました。

地方では少子高齢化による過疎化が進み、様々な課題が顕著になっています。その課題解決の一つが地域と行政が協力し、地域協働の形で役割分担を行い、まちづくりを進めていく事と言われています。しろばんばの里公園が地域内外の人達や地域の子供たちの交流を深める場となり、井上靖先生など多くの文豪が愛した湯ヶ島文学の郷構想の賑わいが創出される事を願っています。



愛と平和を願う ウクライナ チャリティーコンサート

ウクライナの歌姫「オクサーナ・ステパニユック」さんによるチャリティーコンサートが10月16日(日)、15時から旧土肥小学校体育館で開催いたします。

オクサーナさんは民族楽器「バンドウーラ演奏者」で、東日本大震災後、2011年に自然災害に遭った子どもたちの支援プロジェクトを立ち上げ、福島支援のコンサートなど多数のチャリティーコンサートを開催しています。

この春、三島で行われたウクライナ支援チャリティーコンサートを見た方が平和を願い、ぜひ伊豆市でも開催したい！との思いで実行委員会を立ち上げ開催に向けて準備を進めています。

当日、13時30分から伊豆市内の中学生以下の子供たちを対象に無料ミニコンサートも行う予定です。



第37回

小長谷順二 市政報告会開催
令和4年10月19日(水)PM7時~ 土肥支所 4F集会室

集会や会議の自粛で急速開催を見送る事がございます、事前に問い合わせをお願いします。98-0400(小長谷)

本年2月に第1期 伊豆市議会モニターとして10名を委嘱させて頂き貴重なご意見をいただいています。コロナ禍で議会傍聴者も減少していますが、議会ネット配信をご覧いただけます。そして10月3日から第2期 議会モニターの募集を開始しましたので是非ご参加ください。

議会モニターさんからのご意見は、議会運営委員会で共有・協議を行い、全員協議会で報告し、ご意見を議会活動に反映していきます。